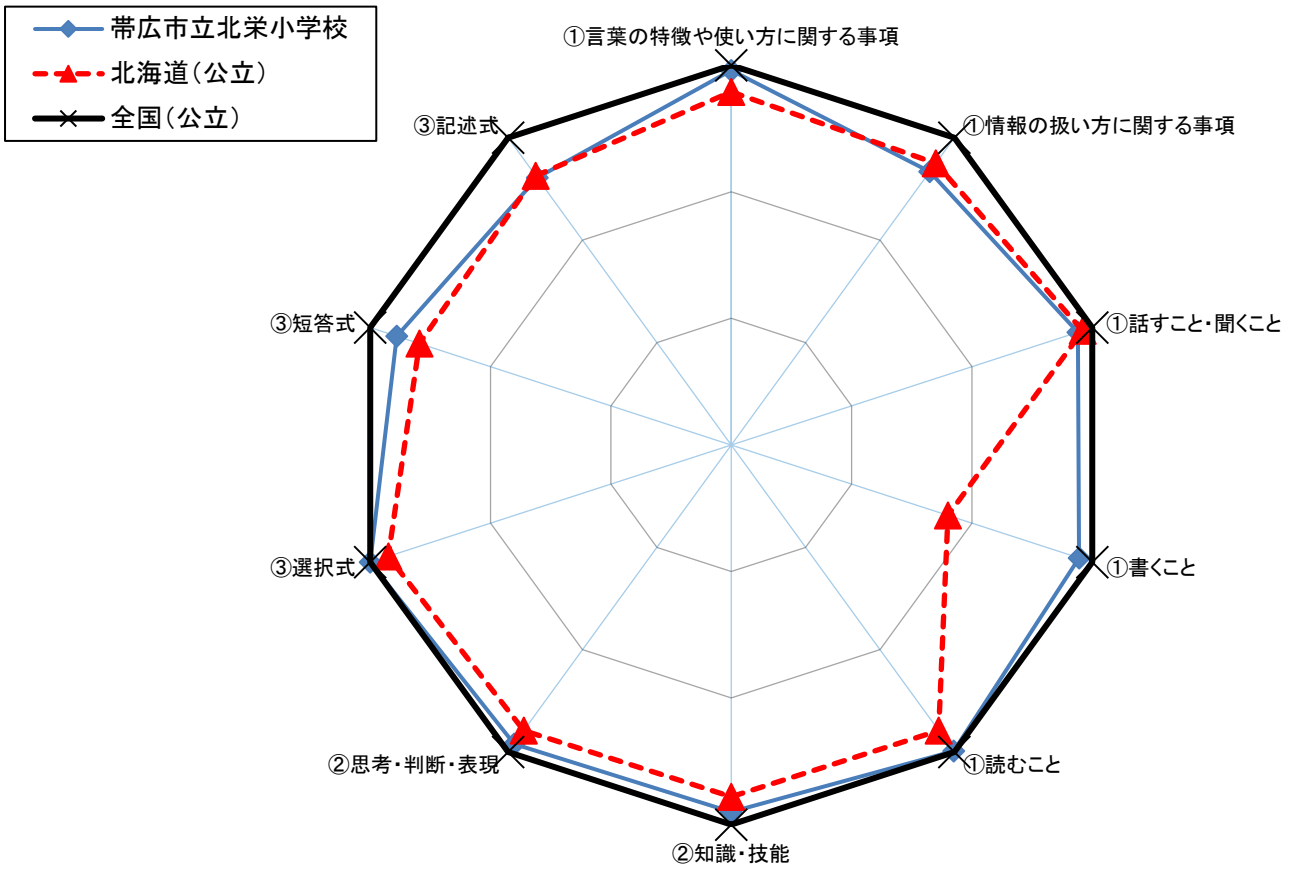
令和５年度 全国学力･学習状況調査の結果について

６年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果等についてその概略をお知らせします。本校では、本調査により測定できるのは子どもたちが身に付けるべき学力の特定の一部分であり、教育活動の一側面であることを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

◆学力の概観

（１）国語

国語における本校の正答率は、全国平均を下回りました。しかしながら、全国平均に迫る項目も多く学力が定着してきている様子がわかります。また、「情報の扱い方に関する事項」を問う問題、「漢字を文の中で正しく使うことができるかを問う問題」に若干課題がみられます。

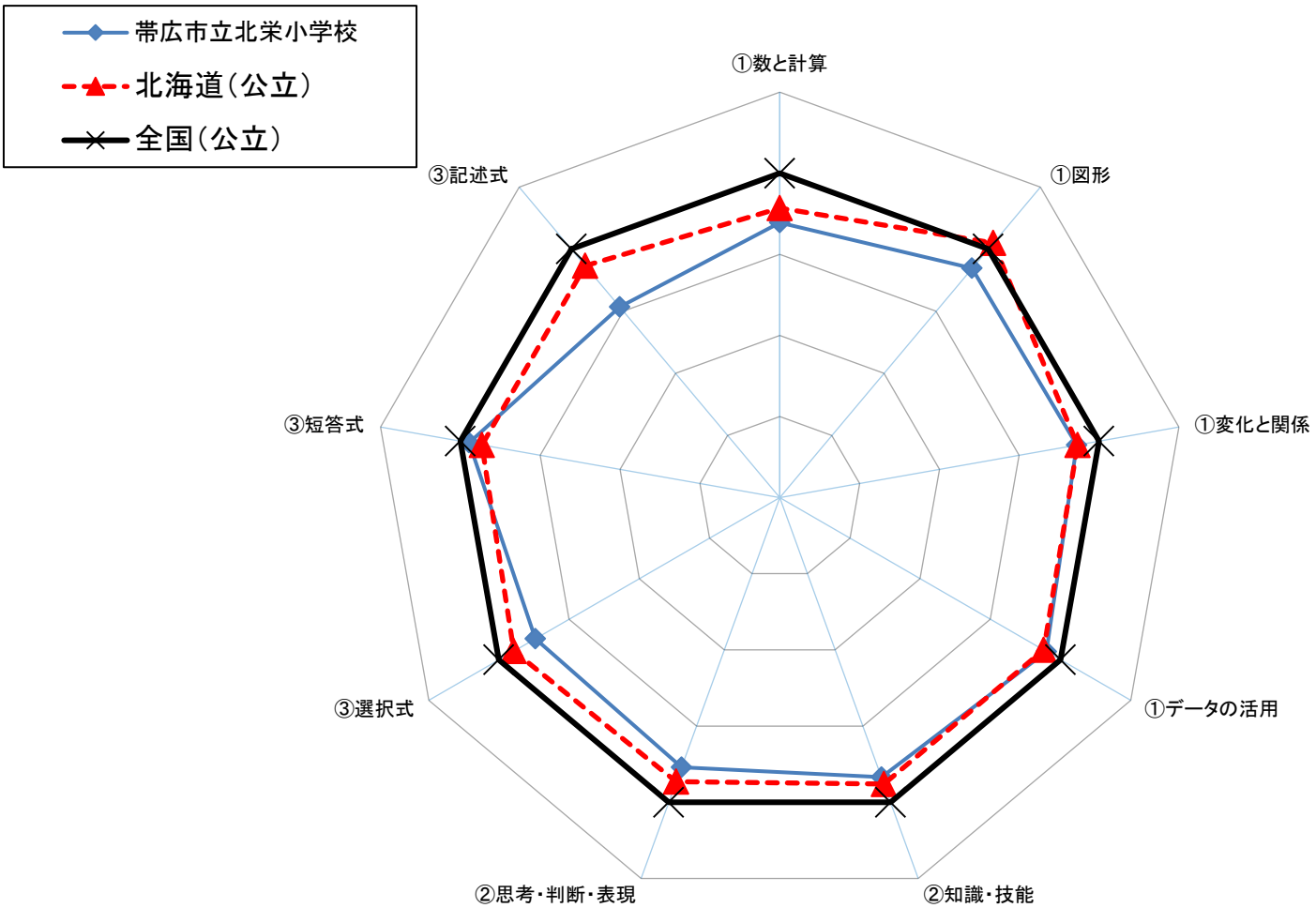


◎今後の取組

- 「情報の扱い方に関する事項」の課題を解決するために、多くの資料から、必要な情報を選択する力などの「情報活用能力」の育成を進めていきます。学校教育全体で探究的な学習を通して、身に付けていくことができるよう授業改善を進めていきます。
- 漢字については地道な取組の積み重ねで伸びます。普段の授業はもとより、宿題やデジタルドリルの活用など、繰り返し学習できる場を設けていきます。

（２）算数

算数における本校の結果は、全国平均正答率を下回りました。しかし、国語同様全国平均に迫る項目も多く学力が定着してきている様子がわかります。算数は無回答率が全国より少なく、学習に最後まで向かおうとする態度や自信がみられます。しかしながら、「記述式」の問題の正答率において、課題が見られました。



◎今後の取組

・中学年の学習内容の定着に課題がみられました。各学年での地道な積み重ねが、次の学年の基礎になりますので、確実な習得のためにドリルや宿題など繰り返しの学習に力を入れていきます。

・国語同様、記述式の問題を解決する力を育成するため、授業の中で「教える場面」「交流する場面」「考えを深める場面」を意図的に設定し、効果的に記述力を高める授業改善について校内での研修を進めてまいります。